

高松市が実施する「脱炭素型ライフスタイル推進モデル事業」に、弦打校区コミュニティ協議会（環境美化部会）の提案が選定され、弦打校区放課後つるピー教室、小学校・幼稚園・保育所PTA、キッズクラブの共催で、川ごみ・海ごみについて学ぶ事業「クリーン活動に参加しよう～流れ着いた川ごみの行く末を考えよう～」を令和4年11月19日に実施しました。

海をよごすポイ捨て 校区の子どもたち環境学ぶ



川ごみ・海ごみについて学び、クリーン活動をする弦打校区の子どもたち＝令和4年11月19日、主催者提供写真

高松市が掲げる「ゼロカーボンシティ」の実現のためには、温室効果ガス排出の約6割を占める家計消費の見直しが必要となっています。そこで、この事業は、カーボンニュートラルの目標年次である2025年に、社会の中心を担う子どもたちが脱炭素型ライフスタイルの重要性を理解し実践することを目的としています。

前半は、かがわ里海大学「オーダー講座」として、かがわ海ごみリーダー2人を講師に、海ごみを学ぶ講座を実施しました。海ごみの約7割は自分たちが暮らす陸から出たごみが、川を伝って海に流出していることを学びました。また、プラスチックごみが、紫外線や波の影響で劣化して砕け、マイクロプラスチックとなり、それを魚が食べて、最終的には人間が口に入っている可能性があることなどを学びました。

後半は、参加者全員で郷東海浜公園グラウンド周辺の海ごみ拾いを行いました。すると、ペットボトルなどのプラスチックごみが大量に捨てられており、先ほど学んだマイクロプラスチックも落ちていたりするなど、学んだことをすぐに現場で体験できました。

参加した子どもたちからは、「これからはごみを捨てない

ようにする」「海ごみを拾っている活動に参加してみようと思った」「マイクロプラスチックを食べた魚を、私たちが食べているかもしれないので怖いと思った」「夏にキッズクラブと一緒にキャンプをした男木島の人たちのところに、自分たちが捨てたごみが流れ着いて困っていることを知って悲しくなりました」などの声が聞かれました。

令和5年度

**弦打地区地域ふれあい
交流事業 文化祭**

日時 10月29日(日)午前9時～午後3時
場所 弦打小学校体育館

- 作品展示
- ステージ学習発表
- バザー・フリーマーケット

来てね

鉄道の構造や魅力体感

J R 四国の運転所を見学、鉄道の構造や歴史を学んだ
＝ 3月27日・高松市西町、主催者提供写真

校区の子どもらJR運転所見学

春たけなわの3月27日、弦打コミュニティセンター講座と「放課後つるピー教室」の共催で「春休み子ども郷土学習～鉄道の歴史講話とJR運転所の見学～」が開催されました。

参加者は、前半は弦打コミュニティセンター和室にて、川崎正視弦打校区コミュニティ協議会生涯学習部会長による讃岐の鉄道の歴史等、主にJR運転所見学の前知識が得られる講話を聴き、後半は、満開直前の桜を眺めながらコミュニティセンターから徒歩で約4kmを移動後、JR四国高松運転所の施設内を見学をしました。

運転所では、「ノスタルジー車両」の話も聞くことが出来、



また、普段見ることのできない修理・点検現場の見学や、車両への乗車体験を行う等、鉄道好きにはたまらない時間を過ごすことが出来ました。「楽しかった」「帰ったらお家の人に教えたい」等、明るい声がたくさん聞こえた体験でした。

「校区を元気に」冬のまつり



「つるうち冬のまつり」で、イルミネーションに彩られた弦打コミュニティセンター＝令和4年12月10日

令和4年12月、弦打コミュニティセンターにて第3回つるうち冬のまつり「コミセンキラキラ大作戦」のイルミネーションの点灯が10日から24日に行われました。

くの人が訪れ、子どもたちのかわいいダンスやすてきなクリスマスソングの披露で会場が盛り上がり、カウントダウンに合わせて明かりが灯ると「わーっ」と大きな歓声があがりました。訪れた人たちは電飾に彩られた会場の写真を撮るなどカフフルな光に包まれた空間を楽しんでいました。

不要不急の外出を控えることが長期化する中、少しでも明るい気持ちで皆が過ごせたらいいなあと思う時間でした。

音でつながる楽しく、さわやか空間

立春間もない2月5日、弦打小学校体育館で「第6回弦打さわやか音楽会」が文化芸術の振興と音楽による世代間交流

を目的に開催され、出演者たちと聴衆の間で楽しい時間が共有されました。弦打校区コミュニティ協議会生涯学習部会主催。



音楽を通じ世代を超え、楽しい時間が共有された「さわやか音楽会」＝2月5日・弦打小学校体育館

弦打小学校3年団、Ki Ri Ko & シュークリーム、つるうちキッズクラブがかわいい合唱・手話、楽器演奏を披露しました。大正琴松風会、大正琴ひまわり、ひいてみようキーボード、クーと丸、及び弦打校区コミュニティ協議会生涯学習部会の皆さんがそれぞれ得意の楽器を持参、美しいメロディーと歌声を響かせました。

讃修流締太鼓とクリスタルハーモニージャズオーケストラ（ゲスト出演）が素晴らしくも迫力満点のパフォーマンスを見せました。

児童に居場所提供7年

放課後つるピー教室



地域の協力で7年目を迎えた「放課後つるピー教室」主催者提供写真

ィセンターを元気にしてきています。

「放課後つるピー教室」とは、弦打小学校に通う全児童を対象に、弦打コミュニティセンターを活用して、毎週木曜日の放課後と月1回土曜もしくは日曜日の午前中に、子どもたちがのびのびとすごせるよう、地域に住む方々や各種団体の協力のもと、子どもたちに居場所を提供する目的で開校しました。

たくさんの行事を通じて、学年を超えた子どもたちの交流や、地域の大人たちとの交流ができ、心豊かなたくましい「つるうちっ子」を育み、子どもたちが地域を知り、地域の大人と交流し、地域愛を持ってくれることを願っています。

この7年間、様々な行事を実施してきましたが、今年度も引き続き地域に根差した活動を実施し、子どもたちと一緒に楽しい教室づくりを目指します。

今年で7年目を迎えたおなじみの「放課後つるピー教室」。今年も5月からスタートし、子どもたちの笑い声がコミュニテ



全校生が参加して行われた体育学習発表会。5年生は「Revival～災害に負けず立ち上がる人々」を心を合わせて表現した＝5月20日・弦打小学校

- 第7回弦打体育協会主催
ダイヤゾン・ボール大会
(1月29日・弦打小学校体育館) ①郷東自治会②保健委員会チャレンジ③つるうちキッズクラブ(参加5チーム)
- 第3回弦打体育協会主催
アジャタ大会(3月5日・弦打小学校体育館) 一般の
- 部 ①トーカー②弦打小学校PTA③弦打体育協会女子▽ジュニアの部 ①放課後つるピー教室②弦打小学校PTA③池田ファミリア
- 第25回弦打校区自治会対抗ゲートボール大会(3月22日・香東川河川敷) ①定木自治会②郷東自治会③青木自治会



水道週間の関連行事として、6月3日「夕ぐれコンサート」が鶴市町の旧御殿水源地(高松市水道資料館)で行われました。4年ぶりの開催。高松市役所吹奏楽団の演奏で、国の登録有形文化財の建物群に軽快でさわやかなメロディーが流れました

■コミセン窓口・コミ協事務所など移動 令和5年4月1日からの地域行政組織再編に係る新たな体制への移行(出張所業務の縮小など)に伴い、高松市弦打出張所と弦打コミュニティセンター事務室の場所及び窓口の場所が変更になりました。玄関自動ドアを入れて、右側へ行くと弦打出張所(住民票等の取り扱い)、まっすぐ進むとコミュニティセンター(講座申し込み・貸し館などの受付)と弦打校区コミュニティ協議会、弦打土地改良区になっています。

弦打校区コミュニティ協議会の広報誌「広報つるうち」は令和5年9月発行の第23号から、弦打校区の全戸配布をしています。弦打地区社会福祉協議会の「福祉弦打」と共同で9月、3月の年度2回発行します。

この広報誌に関する配布のお問い合わせは
 広報誌配布センター
 ☎0120-030-702
 FAX087-883-6539

交通安全防犯部会

子どもの登下校見守り 地域の皆さんの参加・協力を

弦打校区コミュニティ協議会交通安全防犯部会は、小学校、幼稚園、保育所の保護者が中心となり、子どもたちが安全に安心して登下校や生活が送れるよう意見交換したり、登校時の見守りや通学路の見直し、子どもSOS看板の確認をしたり、地域の危険箇所をピックアップし対応策を検討しています。

また、年に1回、環境美化部会と青少年育成部会と合同で

危険看板の現状確認や周辺美化活動を行っています。そして、交通安全指導者研修会や地域の見守り活動充実に向けた研修会などに参加し、最新の情報や他校区の動向を参考にして弦打校区ではどのような事ができるか部会で検討しています。

皆さん、『子ども見守り隊』はご存じですか？交通安全防犯部会では、腕章を作成し、「出来る時に、出来る場所で、出来る事を」をモットーに小学校の保護者やご家族の方、地域の方にご協力をお願いしています。毎日する必要はありません。例えば、登下校の時間に合わせてウォーキングやお散歩、水やりなどをしながらでも構いません。しても良いという方は、腕章をお渡ししますので、ぜひ弦打コミュニティセンターまで、ご連絡ください。よろしくお願いします。



交通安全防犯部会の活動の様子＝同会提供写真

交通安全防犯部会長 伊狩未来
構成団体 弦打小学校PTA、弦打幼稚園PTA、弦打保育所あゆみ会、勝賀中学校PTA、弦打校区コミュニティ協議会青少年育成部会員、弦打地区民生委員児童委員

16事業に560万4千円を採択

令和5年度弦打校区コミュニティ協議会「地域まちづくり交付金事業」には16の事業、560万4千円が提案され、6月26日の総会で採択されました。

主なものは「心豊かな人と文化を育むまちづくり」に142万円を充て、運動会や各種スポーツ大会の開催やキッズクラブの活動を支援し、青少年の健全育成、文化・芸術の振興を図る。

環境・防災では「人と環境にやさしい安全で住みよいまち

コミ協5年度地域まちづくり交付金

づくり」として、校区自主防災訓練や地区内河川の一齐清掃などに80万7千円。

「健やかにいきいきと暮らせるまちづくり」は217万1千円。うち敬老会事業には133万円で自治会単位での開催を支援する。また、地区社協や保健委員会事業などにも補助する。

そのほか、「つるうち夏・冬のまつり」、10月には「地域ふれあい交流事業文化祭」なども予定しています。

地域まちづくり交付金事業計画

(単位:円、かっこ内は事業主体)

体育協会事業(体育協会)	420,000
学校体育施設開放運営委員会事業(学校体育施設開放運営委員会)	230,000
つるうちキッズクラブ育成連絡協議会事業(つるうちキッズクラブ育成連絡協議会)	425,000
青少年健全育成連絡協議会事業(青少年健全育成連絡協議会)	180,000
弦打さわやか音楽会等生涯学習事業(コミ協生涯学習部会)	165,000

クリーン高松推進事業(衛生組合協議会)	207,000
校区自主防災訓練事業(自主防災会連絡会)	400,000
地域防災推進事業(コミ協防災部会)	200,000
社会福祉協議会事業(社会福祉協議会)	450,000
保健委員会事業(保健委員会)	91,000
保健福祉事業(コミ協保健福祉部会)	300,000
敬老会事業(自治会、コミ協)	1,330,000
つるうち夏・冬のまつり事業(コミ協)	250,000
地域ふれあい交流事業(ふれあい交流事業実行委員会)	590,000
地域広報紙発行・配布推進事業(コミ協)	190,000
デジタル通信環境整備事業(コミ協)	176,000

■令和5年度弦打校区コミュニティ協議会役員(6月26日)＝敬称略
会長 大西輝清
副会長 藤村芳信▽同(生涯学習部会長) 川崎正視
理事(青少年育成部会長) 松浦一郎

▽同(交通安全防犯部会長) 伊狩未来
▽同(保健福祉部会長) 川股啓護▽同(環境美化部会長) 住谷篤志▽同(防災部会長) 山口周三▽同(スポーツ部会長) 森綾子▽同(広報部会長) 藤村豊博▽同(事務局長) 英和明▽同

池上宏▽同 川西裕幸▽同 春田敬司▽同 春田まゆみ▽同 引田光俊▽同 山崎佐由美
会計 香西俊範
書記 松川千代子▽同 森谷崇史
監事 坂井実▽同 安井美恵子